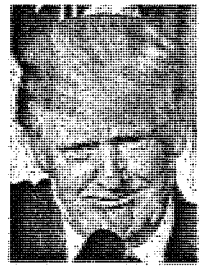




左は協会ロゴ兼エンブレム。2016年7月に制定。協会員・加藤隆久氏の作品。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボール追って流そう爽やかな汗」を呼びかける。1973は協会創立年。



「顔・世紀の番狂わせ」  
神つる  
ジョーカー選んだ  
星条旗

協会創立記念大会に集まった協会員



# 70人 親睦ダブルス

## 総会 各部が年間活動報告

### 創立記念大会&総会開く

#### 高木会長に1年続投要請 14選

協会は12月4日(日)、創立記念大会・総会を開催。午前9時から市民公園に約70人が集まり男女別に受付。集合写真の後、各面10人ほどに分かれ即席ペアを組んでダブルスを楽しんだ。



高木会長

正午から体育館で総会。高木会長挨拶のあと、業務、運営、会計の各部が年間活動報告。次期会長には、来季限りを条件に高木順氏を14選した。



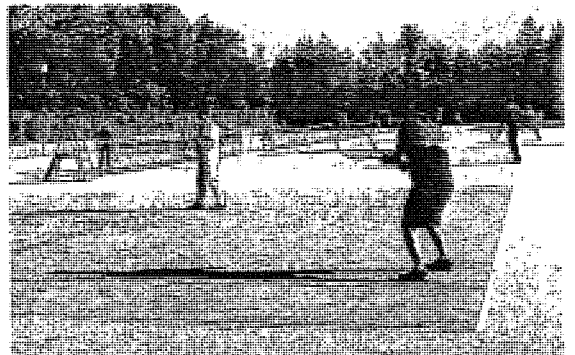
総会で年間総括や活動報告に立つ協会役員

#### <あれから43年>

こんな寒期に大会—1973年(昭和48年)12月、「毛の生えた球でやろまあ」と、軟式庭球経験者たちが市内緑町の瀬戸信用金庫グラウンドで硬式の白い球で練習を始めた。  
翌74年、規約・役員を決め「硬式庭球協会」名で大会や教室を開催。実績を積み、5月に市体協加盟を申請。が、「軟式協会の傘下で活動を」と不受理。「軟式とは違う」と訴え続け、交渉を重ねて76年4月、会員122人で独立・加盟を実現。初代会長は加藤昇氏。高木会長で5代目。

午後9時過ぎから男子4面、女子2面で親睦のダブルス。世代交流もあって、珍プレー、好プレーに沸いた。  
正午からの総会は会長挨拶に続き、各部が活動報告し承認を得た。会長選出では会長職13年で辞意の固い高木順氏(69歳)に代わる新会長を募ったが、立候補、推薦ともになし。満場「もう1年だけ続投を」と要請し高木会長を14選。今後、「稲垣将樹会長」八百山浩幸会長を「予約」。  
総会はお楽しみ抽選会でも盛り上がり、来季の会費を納入して閉幕。午後1時からAコートに戻り、自由にダブルスを再開。夕闇迫る午後5時前、散会した。  
【総会の詳細・2面に】

#### 以降「稲垣」八百山



親睦ダブルスを楽しむ創立記念大会の協会員

# 業務・運営・会計の報告口を承認



年間総括や運営・業務・会計各部の活動報告を、昼食を摂りながら聞く協会員

### 委任含め143人出席

正午からの総会はずみ定足数の確認。会員数244人。本人出席68人、委任状75人の計143人。過半数で成立。議長に加藤徳太郎氏を選出した後、会長が年間活動を総括。

### 高木会長の年間総括(要旨)

会員244人・大会盛況

五輪の年。錦織活躍、大坂躍進。瀬戸「壮年・レディース」は延期、総会後の18日に、熊本震災義援金に3万円寄付。了承。会員数244人(うち新規加入73)。昨期の217(新規49)に比べ増勢。大会も盛況。

### 繰越金増え46万円 財政状態OK

#### 会計・石川氏の報告と監査報告

会計3人を代表して石川均氏が報告。まず会計改革。①大会当日の会費納入は受け付けない②会費納入確認後に会員証交付③会費納入の便宜のため、瀬戸信に加え、ゆうちよ銀行に口座新設を行なった。現会員244人。会費徴収漏れ、幽霊会員はゼロ。会計期初、前期繰越金40万3千円でスタート。主な収入は会費80万円弱。3教室受講料計7万円。体協助成金

### 練習会27回 会報7号発行

業務部は、①年間行事の策定とソフトテニス協会との調整の協

練習会の27回開催と進行②会報「STK」の発行③総会・理事会の案内状況などを5人で担当。昨2月理事会で確定した年間行事日程通りの実施をめざした。協会練習会は水曜・土曜夜が主。月に4回・年27回実施。毎回12人前後が参加。8月中旬以降は減少傾向。参加者固定化が顕著。隔月発行の会報「STK」は年間6号を発行。今総会後に発行予定の122号は、順延の12月18日の「壮年・レディース」大会後となる。総会・理事会案内の往復はがきは準備などに重要な資料。確実な返を要請した。

## 三木さんラケット! 久美ちゃん 辞退・再抽選



総会の最後を締めくくると恒例の加藤スポーツ提供の「お楽しみ抽選会」。総会出席68人は氏名を記入して抽選箱へ(函 議事終)

①三木さんラケット! ②久美ちゃん辞退・再抽選

野さん抽選! ③三木さんが当たり!

了を待つ抽選スタート! 賞品数35。何か当たる率50%超。1等は毎年張り上がりラケット。昨年はウイリソン・錦織モデル。今年はスリクソン・アドフォース(TIOSQ・ホワイト&ブルー)。余りの弁当・茶も賞品に動員。『下力弁派』もそれなりに満足? ソックス、ウェアなどはスポーツ用品など当たるたびに羨望と期待まじりの歓声、喝采。

2等アメリカの大型バッグは佐藤正美氏がゲット。満場固唾を呑む中、ラケット! 中野久美子さん。『えっ、また! (久美ちゃん2度目)。100はデカ過ぎるもん、辞退。当選者による再抽選は三木くんにさっ!』三木さんが幸運のラケットをゲット!

## 出したぞ協会新55分09秒 瀬戸駅伝

大脇〜加藤〜中垣〜岩成 好ル



1区(3.4km) 大脇敬治 14分34秒(24位)  
2区(1.8km) 加藤隆久 7分02秒(17位・9位)  
3区(4.6km) 中垣孝行 18分00秒(17位・20位)  
4区(3.6km) 岩成洋平 15分33秒(19位・28位)  
合計 55分09秒(19位)

協会では12月11日の瀬戸駅伝(男子2部)に5度目出場。号砲後トップ快走。協会記録を約1分縮め55分09秒の新記録。スタート位置一番・胸背の協記録のゼッケン212が胸を力走!

大脇颯爽 序盤トップ

出場57チーム。朝10時11分、パルティに号砲一発! 登りの1区は過去4度経験の大脇。「登り

「走り終えて」大脇「最初は気分爽快。最後3人抜いたが年だあ。加藤6分台組だった。新記録!」

「仕事した!」中垣「試走より1分速かった。よく走れた。岩成「最後バテた。新記録でよかった」

### 「ルール」隣ボール侵入…妨害のレットとその取り直し

大会は日本テニス協会ルールに準拠。ルールのそのポイントが成立する。①レットはボールがコート内に正しく入らなかつた場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームは失点する。②レットがコールされる前に打たれたボールが、明らかにウイングショットまたはミスとなつた場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点となる。

### 加藤激走 7人抜き

大脇推薦の加藤。「初めてだから」と短い2区志願。24位で受け、激走。7分02秒(区間)の快記録。中継地市民公園を17位で頼む。中垣さん!」

### 中垣、エース区間好走

「任せろ!」最長3区は中垣。「再度17分台をめざして起伏のある4.6kmを力走。設定より4秒速い18分00秒。エース区間で見事17位をキープ。ア

### 岩成、死力のゴール

「昨年を1秒でも縮めると岩成。復路・ひかり保育園で声援を浴び最後の下りから懸命のスパート! 15分33秒。昨年は2秒遅れで粘ってゴール! 19着記録55分09秒。56秒短縮の協会新! 全員、お疲れさま。

### 「トイレレック」?

リオ五輪3決、錦織のトイレレックが長く乗車かと心配した。遠い方の施設案内されたが、ナダルはイライラ。主審に盛んに何か言っていたね。

◆セットブレイク時・合理的時間内でレットブレイクに取るのが男女ともセツト。但し、状態深刻とレバニアが判断すれば、当該選手のサービスゲームの前に緊急措置として認められる。時間に規定はなく、理にかなう時間内(5分~15分)で。違反防止のため、アンパイアが随行。

◆1セットマッチは緊急時1回113セツトマッチなら、男子単は1人1回、複はペア2回。女子単は1人2回、複はペア2回。ペアが同時に行つた場合は1回とみなす。1セットマッチでは、緊急時に限り1回のみ。遅刻は遅延11回数を使得つた場合、トイレットに行くことはできるが、エンド交代時90秒かセットブレイク時120秒以内にプレーを再開しなければならぬ。できな場合は、コードバイオレーション(不当なゲート遅延)を科される。

◆着替えレセットブレイク時、女子はコートに離れてOK。男子は着替えないためにコートに離れることはできない。男子はエンド交代時90秒かセットブレイク時にコート内で、またはトイレット時に着替える。

### 「ルール」隣ボール侵入…妨害のレットとその取り直し

大会は日本テニス協会ルールに準拠。ルールのそのポイントが成立する。①レットはボールがコート内に正しく入らなかつた場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームは失点する。②レットがコールされる前に打たれたボールが、明らかにウイングショットまたはミスとなつた場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点となる。

### 秋季大会から2例―再開方法正しかったかな?

そで右の項に関連し、秋季大会での実例を2つ挙げます。再開方法は正しかったかな?

例①「レット後、スマッシュ」

▽女子1部 S.N組 I-A組

1 Nの返球が浅いコブになった相手Iはスマッシュ態勢に入った

2 この時、隣コートからボール侵入

3 守備態勢をとっていたSが

### 加藤隆久 最多24回 協会練習会を7回終わる

協会練習会は4月から10月まで計27回を終了。参加者固定化の傾向。最多参加は加藤隆久24回。田中和彦23回、高木正則・柴田高良21回、松村昌裕19回の順。加藤は今季練習会最多賞のほかに市民大会3位、協会アンブレム採用、瀬戸駅伝快走など活躍。練習会は来4月再開。また頑張つて腕を磨こうぜ。(担当・近藤)

### 「STK」会員募ってます

瀬戸市テニス協会(STK)は会員募集中。協会主管の大会出場料が無料になります。4月~10月(年28回)の協会練習会に自由に参加できます。入会金1,000円・年費3,000円。次年度からは年費のみ。市内在住または在勤者は入会金免除。会員には会報「STKニュース」を郵送、会員証を同封します。大会出場申し込み書に会員番号欄がありますので記入して下さい。記入のない会員には大会当日、受付で会員証等の提示を求めることがあります。

### 会費納入 銀振も利用を

会費納入には、下記の2つの銀行振り込みもご利用下さい。

◆ゆうちょ銀行 店名=二〇八 店番=208 普通預金口座番号=1411190 瀬戸市テニス協会

◆瀬戸信用金庫 店名=共栄支店 店番=008 普通預金口座番号=0269862 瀬戸市硬式テニス協会

転居の方・新規加入で銀振の方「連絡アドレス」へ一報を

住所変更された方、新規加入で会費を銀行振り込みされた方は、住所・連絡先を「協会連絡用アドレス」=setocity.tennis@gmail.comへお知らせ願います。

## 行事日程

### ★協会理事会&理事親睦大会

17年2月12日(日)午前11時~午後1時・体育館会議室で理事会。午後1時~5時・市民公園A3個面で親睦大会。はがきで役員に案内。必ず返信を。雨天の場合は理事会のみ。親睦大会の予備日なし。

### ★春季テニス教室

17年3月5日、12日、19日の日曜3回。午前9時~午後1時。市民公園A。市内在住・在勤・在学者または協会員。先着60人。受講料=1人4,500円(保険料含む)。受付=2月1日~22日。予備日=3月26日。2月1日付け広報掲載。

### ★第32回 瀬戸地方高校生大会

17年3月22日(水)、23日(木)午前7時~午後5時。市民公園A・B。瀬戸市近郊の高校生。男女別の単2・複1の団体戦。参加費=1チーム3,000円。予備日=3月24日(金)。学校関係者に案内。

◆クマツチ復帰・チーちゃんケガ=足の故障癒えた久米孝幸が復帰宣言「V戦線荒らしますよ」。柴山千沙子は右手親指ケガ。記念大会観客に徹す。



# 山口・殷組が初優勝

# 壮年 山口・殷組

〈壮年・レディース 成績〉

〔壮年の部〕  
優勝＝山口嘉裕・殷 耀晨 (フリー)  
準優勝＝山本政巳・水野 圭 (T-B)  
第3位＝加藤繁男・高木 順 (協会)

〔レディースの部〕  
優勝＝浦野優子・森山由香 (JUEGO)  
準優勝＝高木淳子・中野久美子 (丸新)  
第3位＝河合利江・寺田ひとみ (ロング・丸新)  
田中直子・山中智子 (ペンギン薬局)

## 山本・水野組に快勝

今季最終戦「壮年・レディース大会」は1月27日予定が雨で3週延期、1月18日(日)市民公園で開催。45歳以上の男子複33組、40歳以上の女子複30組が参加。コンソレも熱戦を展開。「壮年」は山口嘉裕・殷(いん)耀晨組(フリー)が山本政巳・水野圭組(T-B)を圧倒して初優勝。レディースは浦野優子・森山由香組(JUEGO)が高木淳子・中野久美子組(丸新)を下して初V。3連覇をめざした河合・寺田組は3位。コンソレ壮年は森田・森田、レディースは加藤・加茂が優勝。

## レディースは浦野・森山組 高木・中野組を下す

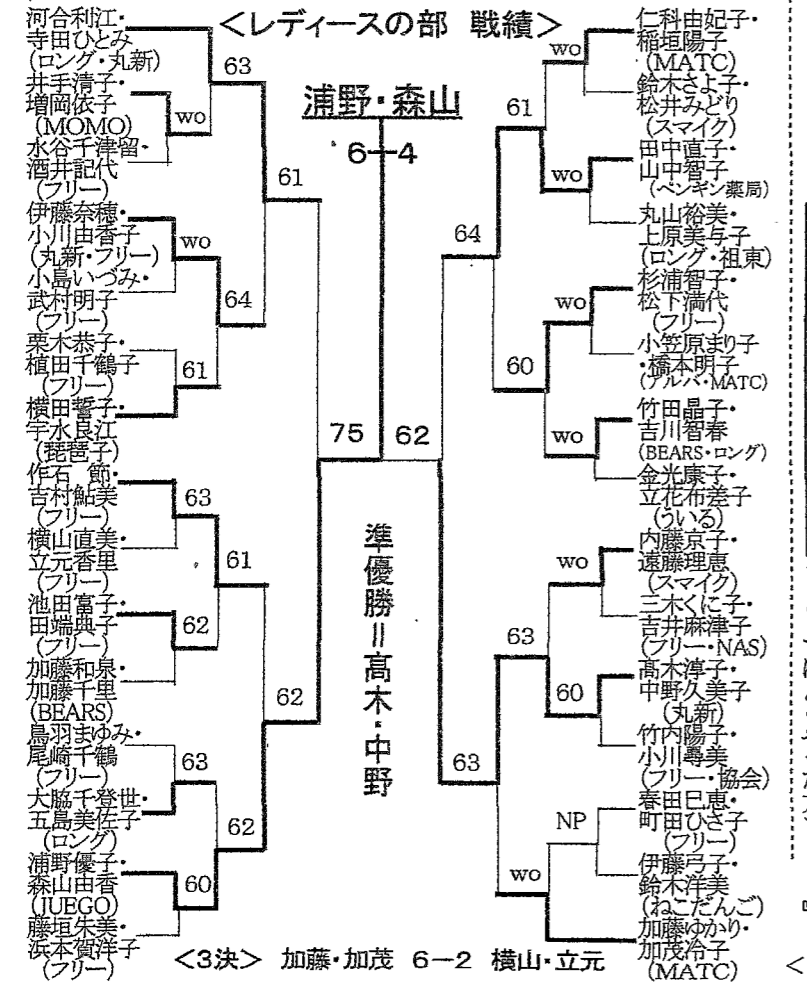
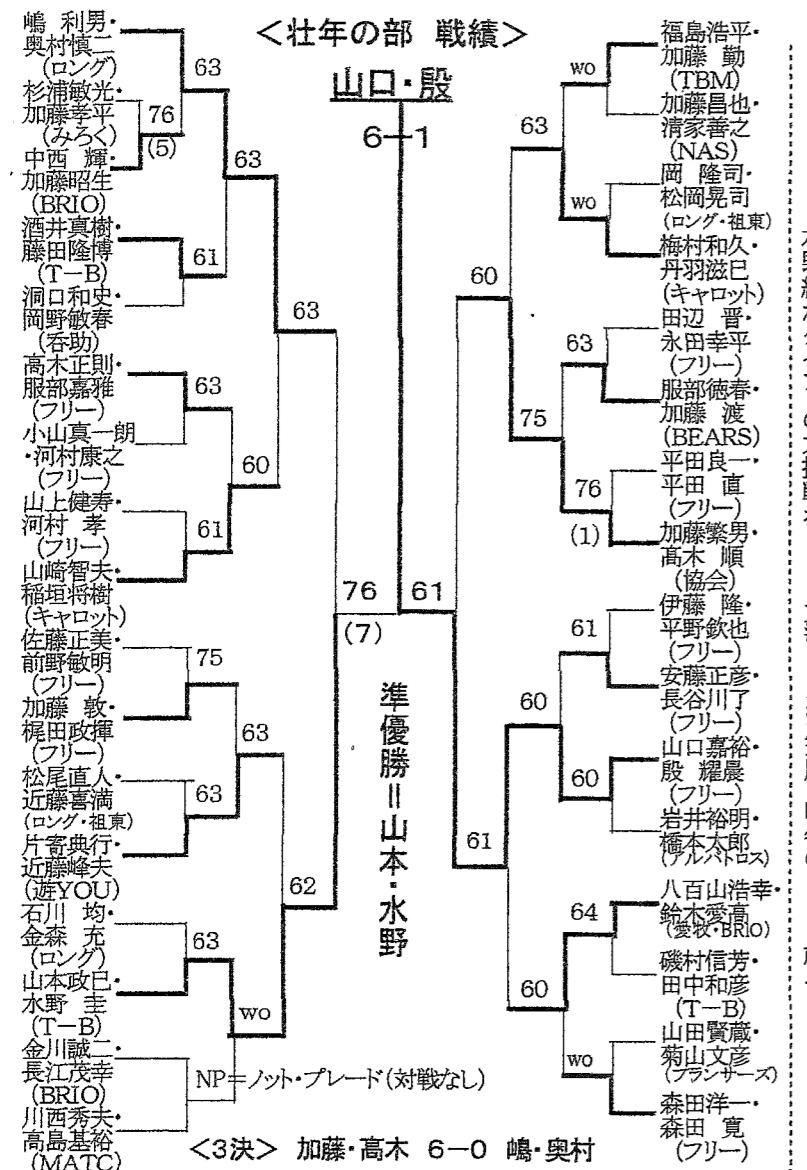
## 河合組は準決勝で涙



「壮年」を初制覇した山口・殷組(前左)、準優勝の山本・水野組(前右)、第3位の加藤・高木組(後右)と嶋・奥村組(後左)



「レディース」初優勝の浦野・森山組(前左)、準優勝の高木・中野組(前右)、第3位の河合・寺田組(後右)と田中・山中組(後左)



壮年3位は加藤・高木組、嶋・奥村組は最短5連勝。準決勝は、第1シードの嶋・奥村組―山本・水野組、加藤・高木組―山口・殷組の激突。足痛・奥村の奮戦及ばず、山本・水野組がタイブレークの大接戦を9-7で制して決勝。山口・殷組は加藤・高木組に6-1で快勝して決勝進出。決勝は強打・攻守の山口・殷組が6-1で圧倒。5戦で3ゲームしか落とさない完勝。昨年の100歳以上に続く2個目のタイトル。3決は、一足にきていた高木・加藤組が嶋・奥村組に6-0の完勝。コンソレは第2シードながら初戦で八百山・鈴木組に完敗した森田・森田組が河村・小山中組を逆転して優勝したが、コンソレVJ賞状も賞品も何もないもんねと寂しそう。

複に続く2個目のタイトル。3決は、一足にきていた高木・加藤組が嶋・奥村組に6-0の完勝。コンソレは第2シードながら初戦で八百山・鈴木組に完敗した森田・森田組が河村・小山中組を逆転して優勝したが、コンソレVJ賞状も賞品も何もないもんねと寂しそう。

クイズ3Q  
Q1:協会員増えたよ。16年末で何人?  
Q2:16年の市選手権(6月)、男子覇者は誰? 女子覇者は?  
Q3:錦織、今季ツアーは準優勝が4回。優勝は1回。どこの大会で優勝した?

「遊YOU」男子勢  
八百山・鈴木組はともに1971年生まれ。年齢を満ち、最年少で壮年デビュー戦。私近藤が知り合った頃、2人は27歳、18年経つのか。当時ヤオちゃん(カクちゃん)角田有喜生と組んでまだ2部にいた。翌年2月生まれの同僚・クメちゃん(久米幸幸)やラガー・村井らと雪かきまで練習した頃を思い出さねえ。

記録室  
「壮年」2000年以前の覇者には菅野・岡田、中小路・黒野の懐かしい名が並ぶ。今回出場者も最多優勝は高木順の5度。高木は連覇めざして加藤繁男と組んだが3位。過去3度Vの稲垣は10年以降苦戦。壮年デビューの八百山・鈴木組も今回8強だった。同年、久米も参戦する今後注目。

〈壮年・レディース 歴代優勝ペア〉

過去 高木淳子5連覇の偉業

年	〔壮年〕	〔レディース〕
96	菅野英男・岡田吉雄	橋本正子・長江勝子
97	中小路義男・黒野真市	長谷川・足立
98	黒野真市・中小路義男	鈴木時子・長江勝子
99	高木 順・横山高雄	牛田千鶴・川崎智子
00	高木 順・横山高雄	鈴木時子・高木淳子
01	田中俊雅・喜多幸雄	江口ひとみ・加茂冷子
02	横山高雄・高木 順	鈴木時子・高木淳子
03	横山高雄・岩本洋光	吉村結美・飛山のみ子
04	松元一彦・高木 順	江口ひとみ・渡辺和代
05	田中俊雅・喜多幸雄	安江真理子・高木淳子
06	高木淳子・小笠原まり子	高木淳子・小笠原まり子
07	古賀昭一・稲垣将樹	高木淳子・小笠原まり子
08	古賀昭一・稲垣将樹	高木淳子・小笠原まり子
09	横山真和・加藤昌也	高木淳子・小笠原まり子
10	古賀昭一・稲垣将樹	作石 節・吉村結美
11	岩間正人・近藤峰夫	高木淳子・松原由布子
12	岩崎民男・金川誠二	河合利江・大島美香
13	加藤昌也・三浦正光	作石 節・吉村結美
14	加藤昌也・水野 育	河合利江・寺田ひとみ
15	高木 順・水野 育	河合利江・寺田ひとみ
16	山口嘉裕・殷 耀晨	浦野優子・森山由香

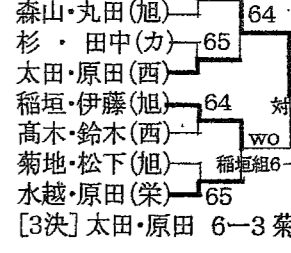
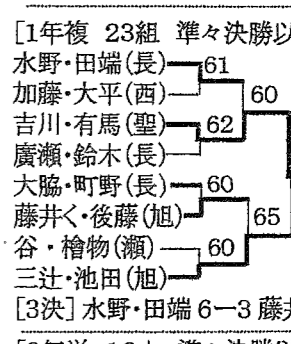
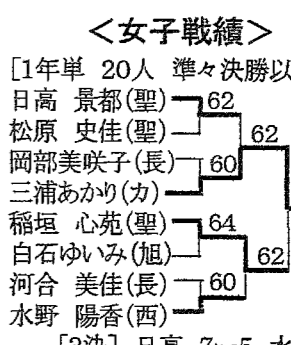
大会出場者へ  
ルール学  
選手はルールを学び、セルフジャッジの仕方を実践して下さい。以下はJTA(日本テニス協会)のセルフジャッジ原則。  
①判定が難しい場合は、アウット(相手有利)とアウト(自分有利)とを叫ぶ。  
②アウットはボールがラインの間にはさまり、空間が見えたらアウトと叫ぶ。  
③ボールがラインを越えてから叫ぶ。  
④相手が見えたら、相手と相手を見えたら、ダブルフォールと叫ぶ。  
⑤ダブルフォールは、相手と相手を見えたら、ダブルフォールと叫ぶ。  
⑥ダブルフォールは、相手と相手を見えたら、ダブルフォールと叫ぶ。  
⑦ダブルフォールは、相手と相手を見えたら、ダブルフォールと叫ぶ。  
⑧ダブルフォールは、相手と相手を見えたら、ダブルフォールと叫ぶ。  
⑨ダブルフォールは、相手と相手を見えたら、ダブルフォールと叫ぶ。  
⑩ダブルフォールは、相手と相手を見えたら、ダブルフォールと叫ぶ。



# 高校学年別大会 256人が熱戦

第6回瀬戸地方高校学年別大会は、10月29日(土)と11月3日(祝)の2日間、市民公園で開催。男子は1年単30人、複22組、2年単32人、複23組、2年単16人、複12組の計256人が参加。男子1年単決勝は栄徳同士の対決。宮崎東洋が松本に圧勝。同複

は水野光晴・國司悠真組(栄徳)がV。男子2年単は川辺笙太(瀬戸西)が7月の新人戦に続いて優勝。同複は杉江・赤堀組(旭野)が制した。女子1年単は三浦あかり(聖カピタニオ)、同複は吉川・有馬組(聖カピタニオ)が制。女子2年単は夏3位の井上知美(長久手)が優勝。同複は伊藤・川村組(瀬戸西)が連勝した。



# 2年単男子・川辺(瀬戸西)／女子・井上(長久手)が制覇

## 1年単男子・宮崎(栄徳)女子は三浦(カピタ)が制覇

※戦績表の( )内は校名の略。聖=聖カピタニオ。長=長久手。栄=栄徳。カ=カピタニオ。旭=旭野。瀬戸西=瀬戸西。瀬戸北=瀬戸北。

◆修学旅行ぶつかる決勝大会の日、栄徳2年生は沖繩修学旅行で欠場。このため女子は変則対戦。栄徳1年男子が奮戦。単決勝は同校対決。宮崎がスナップの制

効いたフオアでこの日3戦1ゲームも失わず圧勝しV。複も水野・國司組が快勝。瀬戸西も奮戦。2年男子の川辺、2年女子の伊藤・川村組が新人戦に続いて制

覇。2年男複の松岡・奥組は惜しくも準V。2年男単の藤井・高木も健闘。2年女単の尾藤・加藤が2、3位。2年女複の太田・原田、1年女単の水野も3位の活躍。

＜男子1年単＞  
優勝=宮崎 東洋(栄徳)  
準優勝=松本 成海(栄徳)  
第3位=横垣安都登(旭野)  
高木 陽介(瀬戸西)

＜男子1年複＞  
優勝=水野光晴・國司悠真(栄徳)  
準優勝=山田 稜・竹内悠真(長久手)  
第3位=石原 守・岡田隼人(瀬戸)  
中村公星・大原健太郎(栄徳)

＜男子2年単＞  
優勝=川辺 笙太(瀬戸西)  
準優勝=山本 裕太郎(長久手)  
第3位=藤井 啓伍(瀬戸西)  
日極 幸樹(瀬戸)

＜男子2年複＞  
優勝=杉江知輝・赤堀稜斗(旭野)  
準優勝=松岡航輝・奥 陽平(瀬戸西)  
第3位=山田 俊・鈴木魁人(長久手)

＜女子1年単＞  
優勝=三浦あかり(聖カピタニオ)  
準優勝=稲垣 心苑(聖カ)  
第3位=日高 景都(聖カ)  
水野 陽香(瀬戸西)

＜女子1年複＞  
優勝=吉川夏生・有馬里香(聖カ)  
準優勝=三辻奈波・池田小岬(旭野)  
第3位=水野由芽・田端夏実(長久手)  
藤井くるみ・後藤梨沙(旭野)

＜女子2年単＞  
優勝=井上 知美(長久手)  
準優勝=尾藤 三菜美(瀬戸西)  
第3位=小出 千尋(旭野)  
加藤 奈桜(瀬戸西)

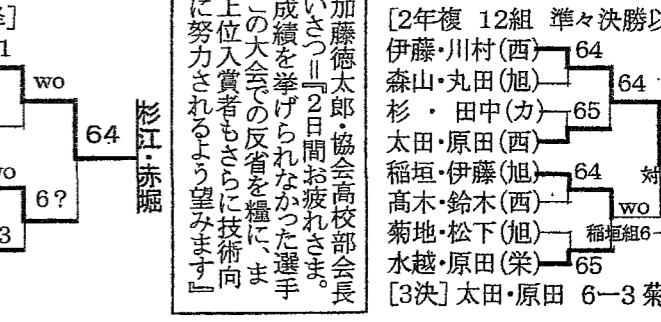
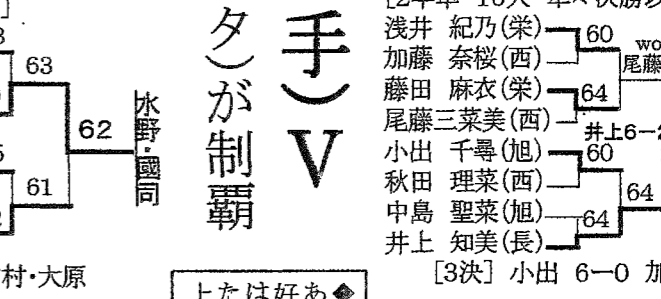
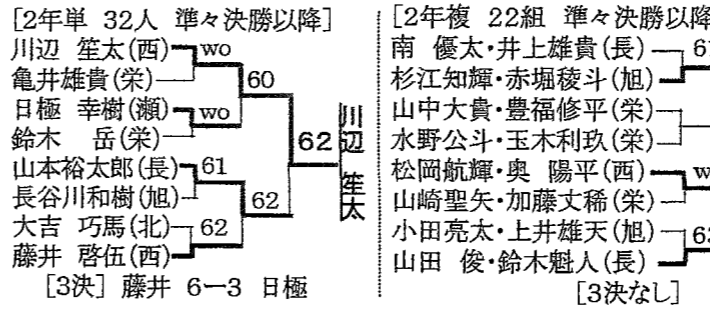
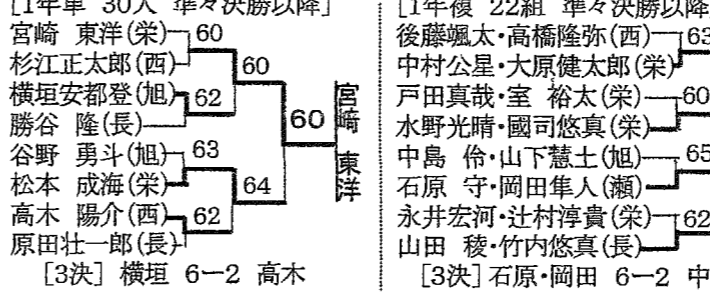
＜女子2年複＞  
優勝=伊藤彩夏・川村芽生(瀬戸西)  
準優勝=伊藤美咲・稲垣綾乃(旭野)  
第3位=太田 菜藻・原田芽美(瀬戸西)  
菊地朝美・松下果鈴(旭野)



男子表彰式——手前前列が1年単4強。先頭、宮崎。左端は3位と健闘した協会員、瀬戸西の高木陽介(11月3日・Aコート)



感慨の賞状——笑顔があふれた女子の表彰式(Bコート)



# 室内 スイス 復帰戦で 錦織準V

世界5位・錦織はスイス室内(V500・10月30日まで)で復帰。第3シード。決勝進出したが、12位。第4シードのチリツチがアチアに1-6、6-1で敗れ、今季4度目の準優勝。決勝は14年全米の再現。第1セットはチリツチの強サでストロークに押された。粘った第2セットはタイブレーク。最後は錦織のダブルフォルト。チリツチは今季2勝目、通算16勝目。

錦織は1、2回戦を苦戦しながらもストローク勝ちで8強。準々決勝は過去4戦すべてストロークに負けている苦手、ダブルフォルトを連発。リオ五輪「銀」。右手首故障で42位ながら14位の強豪、錦織が難関を7-15、6-14のストレート、初勝利で突破した。デルポルトとは12年ロンドン五輪以来の対戦。錦織がこの4年間の成長を証明した。



錦織の話「全く言い訳できない。大事な所で勝ちを逃がしてしまっただけ。サーブが思うように入ってくれなかった。修正してロンドンへ向かう」

# ツアー・ファイナル「死のA組」を2位突破 錦織準決勝で完敗

＜決勝トーナメント＞

A組1位(2-1) マリー

B組2位(2-0) 錦織

A組2位(2-0) マリー

B組1位(2-0) ジョコビッチ

対戦 マ バ 錦 チ

マリー	○	○	○
バプリンカ	●	○	○
錦織	●	○	○
チリツチ	●	○	○

対戦 ジ ラ モ テ

ジョコビッチ	○	○	○
ラオニッチ	●	○	○
モンフィス	●	○	○
ティエム	●	○	○

今季男子8強によるツアー・ファイナル(11月20日まで・ロンドン)に5位で3年連続出場した錦織は準決勝進出したがジョコビッチに完敗。錦織はリーグ「死のA組」1勝2敗の3つ。規定で2位突破。ジョコビッチには1-6、1-10連敗。今季6連敗。全勝対決はマリーがジョコビッチに快勝して初V。

対バプリンカ(過去2勝4敗) 快勝 6-2、6-3

対ラオニッチ(過去7勝8敗) 接戦惜敗 7-6、6-4

対チリツチ(過去3勝2敗) 逆転負け 6-3、2-6、3-6

対ジョコビッチ(過去2勝10敗) 完敗 1-6、1-6

対バプリンカ(過去2勝4敗) 接戦惜敗 7-6、6-4

対ラオニッチ(過去7勝8敗) 接戦惜敗 7-6、6-4

対チリツチ(過去3勝2敗) 逆転負け 6-3、2-6、3-6

対ジョコビッチ(過去2勝10敗) 完敗 1-6、1-6

18歳で日本1・綿貫陽介

綿貫の話「うれい。両親や2人の兄に感謝する。(錦織、ダニエルら)をあげ上には上がある。まずは年齢的にもっといいし、東京五輪の枠は絶対に取りたい。兄・裕介との複連覇逃す。陽介は兄・裕介と組んで複連覇で奥大賞・長尾克己組に敗れて2連覇を逃した。裕介は二宮真琴(橋本総業)と組んで複連覇3連覇。

女子単は前年初V

女子は第3シードで23歳の大前綾希子(島津製作所)が準決勝で加藤未唯(佐川印刷)を6-3、4-6、6-1で下し、第1シード。今季5連敗。1-6、1-6の屈辱的スニア。ジョコビッチはゲイは明らかにベストの状態じゃなかったと気遣った。

マリーがジョコビッチに初V

決勝はマリーとジョコビッチの全勝対決。マリーが6-3、6-4のストレート勝ちで初V。ポイント1500点。賞金約2億6540万円獲得。両者の対戦はジョコビッチ24勝1敗となった。複はコンティネン(フランス)とピエー(スウェーデン)が初優勝。

ツアー・ファイナルに「21歳以下」来季新設

ATPツアー・ファイナルに来季から「21歳以下部門」が新設される。世界ランキング上位7人

15...に連続ダボ。失う。タイプは3-1で落とし逆転負け。昨年3回戦途中、脇腹痛で棄権。今年も3回戦敗退。

1位・マリー 今季8勝目

第2シード・マリーがイスナー(米)を2-1で下して4大会連続優勝。今季8勝目。

マリーの世界1位は、準決勝、ラオニッチ棄権による決勝進出決定の時点で確定していた。

マリー1位(連勝8面)



錦織準決勝でジョコビッチに完敗。決勝進めず

錦織の話「マリーとの差は縮んだ。チリツチ戦の逆転はこれらの原因。ジョコビッチ戦は体の反応が悪すぎた」

AT:244人 A2:男子=加藤 輝(初) 女子=浦野 優子(2連覇) A3:米々ベア(旧全米室内・4連覇・V250)

# マリリー1位

シヨニ2年4か月で退位



マリリーがマスターズ・パリ優勝II写真IIで11月7日付け世界ランキング1位を奪取。王者シヨニは2014年7月から1位。パナリ4連覇を狙ったがチリツチに敗れ8強。2年4か月で「退位」。マリリー(前年準V)は準決勝でベルデイに辛勝。「あと1勝で1位」。準決勝の相手・ラオニツチの故障棄権で決勝進出と1位が確定。09年8月に初めて2位になつてから7年以上かかつての頂点。マリリーは、決勝でイスナーを下して今季8勝目。1973年の現行ランキング制度開始以来、英国人の1位は初めて。◆マリリーの話II「平坦な道ではな

かつた。毎年の努力と実績の積み重ねた。今は競技人生で最高のテニスができています」

## M兄弟 複・単で1位

11月21日付けランキングは1位マリリー、2位シヨニ、3位ラオニツチ、4位パブリンカ、5位錦織。3位と4位が逆転。西岡101位、杉田108位。女子は土居40位、大坂47

## 伊藤 男子単 V 逃す



男子単決勝で敗れた伊藤

## 大前・リキナ 女子複制覇

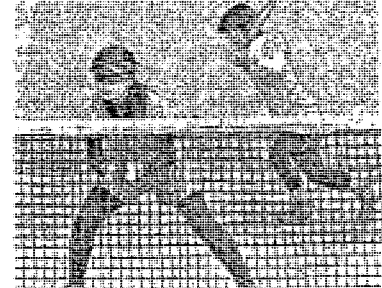


注目の姉貴麗介は2回戦負け

位、奈良78位、尾崎94位、日比野96位。100位内に日本勢5人。1位はケルバー。男子複の世界ランキングでアンディの15か月年長の兄ジジイ・マリリーがソアレス(ブラジル)と組んで1位。兄弟で世界1位の快挙。翌28日付けは、男子上位は112位、添田126位。ダブルは2位まで落ちた?

# 愛知1回戦敗退

全国レディース 兵庫に0-3



強豪・兵庫と戦う愛知代表ペア

婦人テニスの松舞台——都道府県上位代表3組による第38回全国レディース決勝大会(11月12日まで・東京昭島)で愛知は1回戦・兵庫に0-3で敗れた。昨年4度目Vの愛知は初戦で前年4強の兵庫と激突。野間貴子・新美美奈子組、野田みつづ越前明美組、神谷美樹・大久保良乃組の3ペアともに涙。決勝は神奈川が埼玉に3-0で快勝して7年ぶりに9度目のV。3位・東京、4位は震災の熊本。



## 森林ロングの犬飼、水谷がV

東山「ATCF杯」250人熱戦  
愛知テニスクラブ連盟など主催の第34回「ATCF杯」(名古屋東山・11月19、20日)は県内の小中高生・一般約250人がレベル別・年齢別のシングルスに熱戦=写真=。チェリー、木曾川LTC、竜美丘勢が活躍したが、ピカ1は森林LWTC。男子クラス1・2犬飼秀之、クラス3で水谷裕紀が優勝。

天オラガ! 平尾53歳  
ひらお、誠二。ラグビー元全日本主将。監督。癌のため。10月20日死去。53歳。

近藤大生II  
82年11月5日・知多市生まれ。大生くまき。名古屋高校出。1977年、エキスパートシニアカ所所属。小1でテニスを始め、高校総体団体V、単連V。「目標・サンフラン」。01年プロ転向。黒星アレー。全日本男子複で06・10・11年全豪連年選に挑み1回戦敗退。世界ランキング最高275位。【本紙20号(01年7月)で紹介】

大生 複4強を花道に...  
今季で引退の近藤大生(ひろき)34歳最後の大会。尊敬する鈴木貴男(40歳)と組んで複2勝。準決勝でリード・スマス組に敗れ、15年間のプロ生活に幕

錦織がロテックに完敗  
東日本復興支援慈善大会が11月26日、有明で6年連続開催。錦織10テイク(米・12年引退の元1位の8ゲーム戦。往年の3500サーブに錦織は3-1の完敗。「サーブ力は落ちてないよ」と脱帽。大坂なおみ(19歳大阪生まれ。米育ち)が11月25日、日清食品と複数年の所属契約を結んだ。「カツ

者・綿貫陽介は2回戦で敗退。複はリード・スマス組(豪)がストリート勝ちで優勝した。

初のプロ・石黒修 逝く  
いしくおさん。日本初のプロ選手。11月9日死去。80歳。長崎市出身。慶大卒後71年プロに。全日本単・複各3度V。65年全豪男復8強。全豪。全米単3回

フエド杯はチエゴが3連覇  
女子のフエド杯決勝(11月13日)は、ストラスブルグはチエゴがフランスを3勝2敗で下して3連覇。チエゴはロバキア時代を含め10度目V。

男子国別対抗戦・テニ杯決勝のクロアチア・アルゼンチン(11月27日)で、ザクレブはアルゼンチンが1勝2敗から最終日の単で連勝。3勝2敗として初優勝。クマテアの11年ぶり2度目Vを阻んだ。

テニ杯アルゼンチン逆転初V  
男子国別対抗戦・テニ杯決勝のクロアチア・アルゼンチン(11月27日)で、ザクレブはアルゼンチンが1勝2敗から最終日の単で連勝。3勝2敗として初優勝。クマテアの11年ぶり2度目Vを阻んだ。

STKニュース  
協会業務発行の会報。原則隔月。1975年(昭和50年)創刊。98年から定期刊行。第10号まで。梶田俊幸・元理事。第11号から理事・近藤峰夫が制作。会員に郵送。

次号は3月末 高校生大会後

あんのんポイント  
○：総会後発行を変更、「壮年レディース大会」の結果を待つ。今の122号。創立記念大会。総会に約70人。高木会長。苦勞ですが、来期も頼みます。○：18歳・綿貫陽介が全日本を制覇。こちらの16歳陽介も健闘。高校学年別大会、協会員 高木陽介(高木正則・愛

夫妻の次男、瀬戸西1年が準決勝で惜敗したが堂々の3位。栄徳2年生が修学旅行とぶつかり決勝大会不戦敗は残念。○：「壮年山口・股組」レディース・浦野・森山組は強かった。延期で年末開催。壮年5、レディース9組WO。副業の瀬戸駅伝で協会快走し新記録。52分台までは可能。10位は51分台。トランプ10へあと二息。○：「宿命のライバル」、シヨニとマリリーのトランプ争い激烈。D・MにNの直行便挑戦状だ。「ワニ亀・ラオニツチ」も強敵。ツアー最終戦、錦織は後半3連敗で閉幕。さあ来季準備だ。(近藤)